

中学校入学式 式辞

満開の武家屋敷門や校庭の桜が、みなさんを祝福し歓迎しているかのようです。

この佳き日に、ご来賓・保護者の皆様方にご臨席を賜り、山脇学園中学校入学式を挙げていただけますことに、大きな喜びを感じております。

ただいま入学を許可いたしました292名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

今日、晴れて山脇学園の生徒となられた皆さんを、本学園教職員一同、心から歓迎いたします。

また保護者のみなさまにおかれましても、これまで慈しみ育てられたお嬢様のご入学に感激もひとしおのことと存じます。心よりお祝いを申し上げます。

今呼名を受けたみなさん一人ひとりのお姿を拝見し、改めてお会いできた喜びを感じています。真新しい制服はみなさんにとっても似合っていて、すがすがしい姿は、中学生になったのだ、という思いが伝わってくるようです。

みなさんは厳しい入試を超えて、今ここにいらっしゃいます。そしてここはゴールではなく、はじまりの場所です。ここまでみなさんが一生懸命勉強に打ち込んだ日々はすべて、これからつながります。目標に向かって努力したこと、真剣に取り組んだこと、辛い時も投げ出さず最後まで頑張りぬいたことなどは、みなさんの人間としての土壌を耕しました。学んだ知識や技術は、今、いくつもの種となってあなた方の中にあり、これからたくさんの芽を出し枝葉を伸ばすでしょう。山脇学園で育てていく幹で、みなさんがどのような花や実をつけていくのか、と考えると、今から楽しみでなりません。

ここまでの道のりに、そばにいてくださった方々の顔を思い浮かべてください。勉強を頑張ったのは皆さんですが、適切に導き、陰で支えてくださる方がいてくださったからこそ、今新たなスタートに立てているのだということにあらためて思いを寄せてください。

さて、山脇学園での生活を始めるにあたり、本校のことについて少しお話をしたいと思います。山脇学園は明治36年、1903年に創立されました。創設者であり初代校長の山脇房子先生は、今日みなさんが胸につけている「ハートに富士」の校章をデザインし、建学の精神と育てたい女性像を表しました。ハートは「まろく優しい心、相手を受け容れ、平和を願う心」、富士山は「いつどこから見ても美しく品格ある姿、徳を備えた人間性と高い志」を表します。

また校歌では「しるしに恥じずもろともに 努め励みて世に立たん」山脇生はこの校章に恥じないよう、みなで世のため人のために貢献する人になりましょう、というメッセージが歌われています。

このような人を社会に送り出すのが山脇学園の「志」と言えます。

今皆さんが着ていらっしゃるワンピースの制服をデザインし、日本で最初の洋装の制服として取り入れたのも房子先生でした。和服姿の女性がほとんどだった時代に、洋装の利便性に目を向け、時代の先端に行くことを恐れずに導入された制服は、一世を風靡しました。今もほぼデザインを変えずに受け継がれる制服を、生徒たちは誇りをもって着用しています。

昨年度は本校の創立 120 周年でした。生徒たちからは、自分たち一人ひとりがこれからの学園の歴史を創っていくのだという自覚ある言葉が聴かれ、頼もしく思った一年でした。

今日からは皆さんが、121 年目からの山脇の歴史をつくる仲間です。山脇生一人ひとりがより素敵な学園を創ろうとしていけば、その中で過ごすすべての山脇生が、よりよく自分自身を磨いていくことができます。その秘訣は、今後みなさんとの道徳の時間でお話ししていきたいと思いますが、今日は、「良いスタートを切る秘訣」を3つお伝えします。ぜひ実践してみてください。

1つ目は「山脇を探究しよう！」です。

クラスの友だちはどんな人？どんな先生がいるの？どんな先輩がいるの？

どんな授業なんだろう？どんな施設があるのかな？なぜこのルールがあるの？

初めはわからないことばかりだとしても、そこに「どんな？」「どうして？」という自分の疑問符を見つければ、その答えを見つけるのが楽しくなります。

あなたのペースでよいですから、自分から知ろう、動こうとすることを大切にしてみてください。

「いろんなことが随分わかってきた！」と思える頃には、きっと山脇を大好きになっている、と思います。

2つ目は「違いを楽しもう！」です。

中学校生活は小学校生活と随分違います。時間割も、毎日授業を受け持つ先生も皆違います。

クラス・学年・部活や行事、出会いの多さも段違いです。ここにいるみなさんも、それぞれ違う場所で育ち、それぞれ異なる経験をもって集まっています。受験した入試科目も得意な科目もみんな違います。

でも同じなことがあります。それは、誰もが新しい生活のスタートにドキドキしていること。

そしてみんなと仲良くなりたい、と思っていること。

ドキドキしているお互いを思いやり合いながら、一緒にワクワクに変えていけたらいいですね。違っていい。それが当たり前。そう思えば、きっと少しずつ違いを楽しめるようになっていきます。

3つ目は、「今から、ここから、始めよう！」です。

みなさんはここからどんなふうにも伸びていく可能性に満ちています。

そして私たちは、あなた方の中に無数にある志の種を、山脇で発芽させ、大きく伸ばしてほしい、伸ばしてあげたい、と考えています。

でもそれを妨げるものがあります。それは、あなた方自身が「私はこれが嫌い、苦手」という思い込みを持つことや、「自分はこの程度」だと枠にはめてしまうことです。もしそのような思いがあったら、どうかそれを一度、外してください。

今から、ここから、一歩ずつ登り始めればいいのです。

人と比べることも、焦ることもありません。自分の歩幅で毎日登っていたら、昨日より今日、今日より明日、高い場所に上がり、広い景色が見渡せるようになります。広い社会や広い世界が見えてくれば、自分の進むべき道が選べます。「学ぶ」ということはそういうことだと思っています。

私たちは、みなさんとともに歩きながら、その登っていく道のりが楽しく豊かなものになるよう案内し、時に引き上げます。息が切れたときには、そばでサポートします。

平坦な道ばかりでなく、時にはちょっとハードな登り坂や、異なる景色が見える道にチャレンジすることも、私たちは応援します。あなたの新たな力を引き出すのに必要だと思っているからです。

「今から、ここから」新たな生活の始まりです。たくさんの先生たちが学びの楽しさを伝えよう、と待っています。多彩な学習施設は、あなたの学ぶ意欲を掻き立ててくれることでしょう。総合知力プログラムや、放課後プログラム、校外学習などは、あなたの志を開拓してくれることでしょう。また、今年度から本校は、スーパーサイエンスハイスクール校として認定されました。多くの大学や外部教育機関の先生方のご支援は、皆さんに多くの高度な学びの機会をもたらしてくれるでしょう。

本校には、自分の力を試そうとステージに上がる人や、失敗を恐れずチャレンジしアクションを起こす人を応援し合うあたたかな校風があります。

またクラス、部活動、委員会、行事など、仲間や先輩たちと交流し、一緒に協働してつくりあげる喜びと感動を味わう経験がたくさんあります。多くの卒業生が、山脇の友だちは一生ものだと口を揃えます。楽しい時間を共に過ごす中で、みなさんもそんな友だちをたくさん作っていかれることを願っています。

最後になりましたが、保護者のみなさまにご挨拶を申し上げます。

本日、緊張の中にも凜とした姿でここにいらっしゃるお嬢様を拝見し、大変うれしく思うと同時に、改めまして身の引き締まる思いがいたします。

山脇学園の中高6年間は、社会で生き生きと活躍するための様々な力を育む大切な期間です。私たちは生徒たちが自ら志の種に気づき最大限に伸ばせるよう、また自分の道を自ら選択し歩み続ける女性に成長されるよう、心を合わせてお嬢様の教育に全力を傾けてまいります。

心身の成長著しい時期をお預かりするにあたり、保護者のみなさまと私たち教員が理解し合い、ともに手を携えお嬢様のご成長を見守ることが、最も大切なことと考えます。これから、どうぞよろしく願い申し上げます。

それでは、新入生の皆さんが心身ともに健やかに、実り多き学園生活を送られることを心より願い、本日の祝辞といたします。

令和6年4月8日

山脇学園中学校校長 西川史子